

3月16日(金) 13:50 開会

日本農芸化学会 2018年度大会2日目

産学官学術交流フォーラム

名城大学 共通講義棟北1階 N101 名城ホール 参加無料・登録不要

第1部 農芸化学研究企画賞 発表会 (13:50-14:50)

第15回受賞研究 研究企画発表会 高谷 智英 (信州大学) 春田 伸 (首都大学東京)

第14回受賞研究 中間報告会 伊藤 康博 (農研機構) 芦内 誠 (高知大学) 藤井 克彦 (山口大学)

第13回受賞研究 最終報告会 臼井 健郎 (筑波大学) 仲川 清隆 (東北大学) 笠井 大輔 (長岡技術科学大学)

第2部 シンポジウム「企業トップが語る研究開発の未来予想図」(15:20-18:15)

企業のトップクラスは何を考えて、どういう研究開発マネジメントをしているのか？成功のきっかけは何だったのか。農芸化学に近い分野で、大活躍されている企業のトップから次世代の研究開発ビジョンを語っていただきます。



野村 伸彦 (富山化学工業株式会社 総合研究所 製品情報部 部長)

「過去」から「現在」、そして「未来」へ

- 富山化学の感染症領域への取組みも含めて -



曽我部 敦 (東洋紡株式会社 敦賀バイオ研究所 所長)

東洋紡におけるバイオ事業の歴史と産学官連携の取組について



畦上 修 (トヨタ自動車株式会社 アグリバイオ事業部 主査)

トヨタ自動車 バイオ分野の取組について



天野 源之 (天野エンザイム株式会社 代表取締役社長)

名古屋発 中堅バイオ企業の生きる道

第3部 技術交流会 (18:30-、共通講義棟北地下1階 名城食堂)

参加無料、日本農芸化学会2018年度大会ミキサーとの合同開催 (大会参加登録が必要です)

背景写真提供 名古屋城総合事務所

